

## 幻影師アイゼンハイム (2006)

THE ILLUSIONIST

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー ロマン스

製作国 アメリカ/チェコ

色彩 Color

時間 109分

初公開日 2008/05/24

公開情報 デジタルサイト=デスペラード

## 【キャッチコピー】

すべてを欺いても  
手に入れたいもの、  
それは君。

## 【解説】

ピュリッツァー賞受賞作家スティーヴン・ミルハウザーの同名短編小説を「レッド・ドラゴン」「25時」のエドワード・ノートン主演で映画化した幻想ミステリー・ロマンス。19世紀末のウィーンを舞台に、身分の差ゆえに一度は諦めた初恋の女性を巡って、一人の天才幻影師が自らの奇術を駆使して時の皇太子に果敢に立ち向かう姿を、妖しくも格調高く描き出す。共演はポール・ジアマッティ、ルーファス・シーウェル、ジュシカ・ビール。監督はこれが長編2作目の新鋭ニール・バーガー。

19世紀末、ハプスブルグ帝国終末期のウィーン。イリュージョンが見せ物として隆盛を誇る中、天才と評され絶大な人気を集める幻影師、アイゼンハイム。ある日、評判を聞きつけた皇太子レオポルドが観覧に訪れる。ショーの途中、皇太子が同伴していた婚約者を舞台に招いたアイゼンハイムは、彼女が幼なじみのソフィと気づき動揺する。かつて2人は互いに愛し合いながらも、階級の壁の前に引き離されてしまったのだった。そんなアイゼンハイムは王宮に招かれた際、皇太子の前で挑発的な態度に出る。これに逆上した皇太子は、自らに仕える警部ウールにアイゼンハイムの追い落としを命じるのだったが…。

## 【クレジット】

監督	ニール・バーガー	Neil Burger
製作	マイケル・ロンドン	Michael London
	ブライアン・コッペルマン	Brian Koppelman
	デヴィッド・レヴィーン	David Levien
	ボブ・ヤーリ	Bob Yari
	キャシー・シュルマン	Cathy Schulman
製作総指揮	ジェーン・ガーネット	Jane Garnett
	トム・ヌナン	Tom Nunan
	テッド・リーボヴィッツ	Ted Liebowitz
	ジョーイ・ホーヴィッツ	Joey Horvitz
原作	スティーヴン・ミルハウザー	Steven Millhauser
脚本	ニール・バーガー	Neil Burger
撮影	ディック・ポープ	Dick Pope

『幻影師、アイゼンハイム』  
(『バーナム博物館』所収)

プロダクション デザイン	オンドレイ・ネクヴァシール	Ondrej Nekvasil	
衣装デザイン	ナイラ・ディクソン	Ngila Dickson	
編集	ナオミ・ジェラティ	Naomi Geraghty	
音楽	フィリップ・グラス	Philip Glass	
出演	エドワード・ノートン	Edward Norton	幻影師アイゼンハイム
	ポール・ジアマッティ	Paul Giamatti	ウール警部
	ジェシカ・ビール	Jessica Biel	公爵令嬢ソフィ
	ルーファス・シーウェル	Rufus Sewell	皇太子レオポルド
	エドワード・マーサン	Edward Marsan	興行師フィッシャー
	ジェイク・ウッド	Jake Wood	ヤルカ
	トム・フィッシャー	Tom Fisher	ウィリグート
	アaron・ジョンソン	Aaron Johnson	若きアイゼンハイム
	エレノア・トムリンソン	Eleanor Tomlinson	若きソフィ
	カール・ジョンソン	Karl Johnson	医者／老紳士
	ヴィンセント・フランクリン	Vincent Franklin	
	ニコラス・ブレイン	Nicholas Blane	